

■龍ヶ崎市都市計画マスタープランアンケート 調査概要

1. 調査の目的

本調査は、今後のまちづくりについて市民の意向を調査し、「新都市計画マスタープラン」策定の基礎資料とすることを目的とする。

2. 調査方法

(1) 調査対象者

- ・市内在住の18歳以上の男女 2,000人（住民基本台帳から無作為に抽出）

(2) 調査方法

- ・郵送による配布・回収（無記名）

(3) 調査期間

- ・平成27年12月4日（金）～平成27年12月21日（月）（平成28年1月14日分到着まで集計）

3. 配布・回収状況

- ・配付数:2,000票
- ・回収数:575票
- ・回収率:28.8%

4. アンケート調査の分析にあたっての注意事項

- ・比率はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。そのため、百分率の合計が100%にならない場合があります。
- ・複数回答を求めている質問の場合、未記入を全て除いた票数を集計をしています。
- ・グラフや表中の回答選択肢は、短縮して表記している場合があります。
- ・属性別のクロス集計・分析にあたっては、各属性サンプル数が少数の場合には、的確に分析ができないためコメントを控えています。
- ・クロス集計の網掛けの箇所は、全体の割合（%）よりも5.0ポイント以上乖離している属性を示しています。

5. アンケート調査項目

1. あなたご自身のことについて

- 問1 性別
- 問2 年齢
- 問3 勤務地・通学地
- 問4 お住まいの地区
- 問5 家族構成
- 問6 居住期間
- 問7 以前に住んでいた場所

2. あなたのお住まいの地区について

- 問8 暮らしやすいと感じているか
- 問9 愛着を感じるか
- 問10 今後も龍ヶ崎市に住み続けたいか
- 問11 日常生活で日ごろ感じていること
- 問12 自然環境の保全について、どこに重点を置いたらよいか
- 問13 日頃危険・不快だと感じている施設や事項として、どのようなものがあるか

3. 龍ヶ崎市の今後のまちづくりについて

- 問14 人口減少社会について、どのくらい知っているか
 - (1) 日本の人口は、2020年代には毎年約70万人(島根県や鳥取県1県分の人口)の減少が予想されていること
 - (2) 少子化・高齢化が進み、30年後には、ほぼ3人に1人が65歳以上になること
 - (3) 国がコンパクトシティの形成を進めていること
- 問15 人口減少に対し、龍ヶ崎市の街の規模はどのようにあるべきと考えるか
- 問16 少子高齢化が社会問題となっているが、都市計画ではどのように対処すれば良いと考えるか
- 問17 龍ヶ崎市全体における新しいまちづくりの方法についてどのように考えるか
 - (1) 開発や土地利用の規制・誘導にきめ細かく対応していくため、龍ヶ崎市独自のルールを定める
 - (2) 地区ごとのまちづくりは、その計画段階から、住民と充分協議・検討する
 - (3) 身近な公園や緑の保全・活用については、周辺住民がその計画づくりや維持・管理に積極的に参加する
 - (4) 牛久沼や蛇沼、小貝川などの水辺、斜面林などは動植物の生息・育成の場として保全・活用を図る
 - (5) 協定や契約を結びながら、緑化の推進や良好な緑の保全を図る
 - (6) 公共建築物のデザイン基準の導入や民間建築物への奨励などにより、龍ヶ崎市にふさわしい質の高い都市景観を形成する
 - (7) 周辺住民と協定などを結び、建築物の形や色、敷地内の配置などが統一された良好な街並みを形成する
 - (8) 民間企業の持つ技術や情報などの活用を進める
 - (9) 団塊の世代が身近な地区や多彩な活動などで活躍のできる機会や場づくりなどを進める

4. まちづくりへの参加について

- 問18 龍ヶ崎市のまちづくりへの参加について、どのように考えるか
- 問19 龍ヶ崎市の里親制度の導入について、自身の居住地区をより良くしていくために、どのような方法が望ましいと思うか
- 問20 あなたが、お住まいの地区のまちづくりの取り組むとした場合、何が必要であると思いますか

自由回答

- 1. これからの龍ヶ崎市まちづくりについて(例:街並み景観、中心市街地の活性化、環境との共生など)
- 2. 身近な地区でのまちづくりについて
- 3. その他